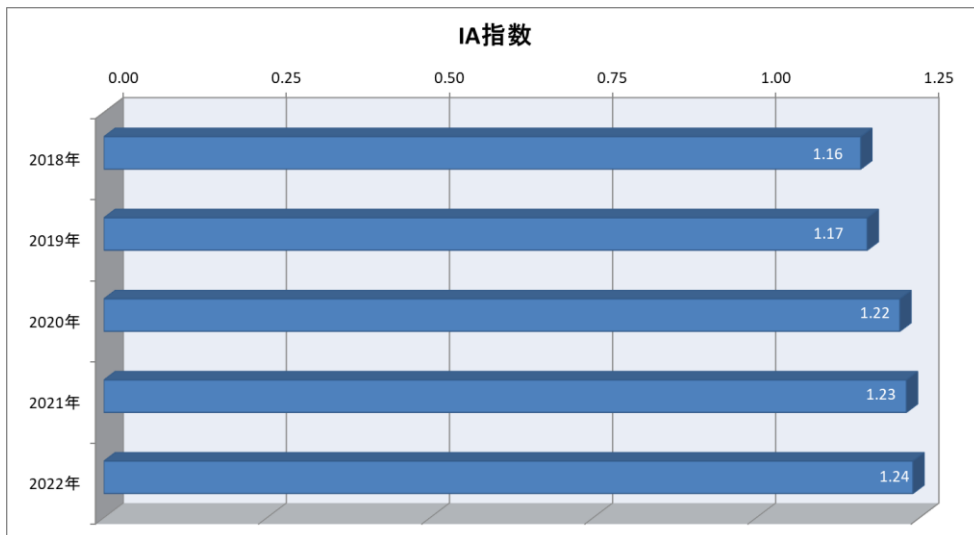


I . Quality Indicator

1. IA 指数

インシデント・アクシデント1件あたりの患者影響レベルの平均値を示しています。患者影響レベルの総和をIAレポート報告件数で割った値です。

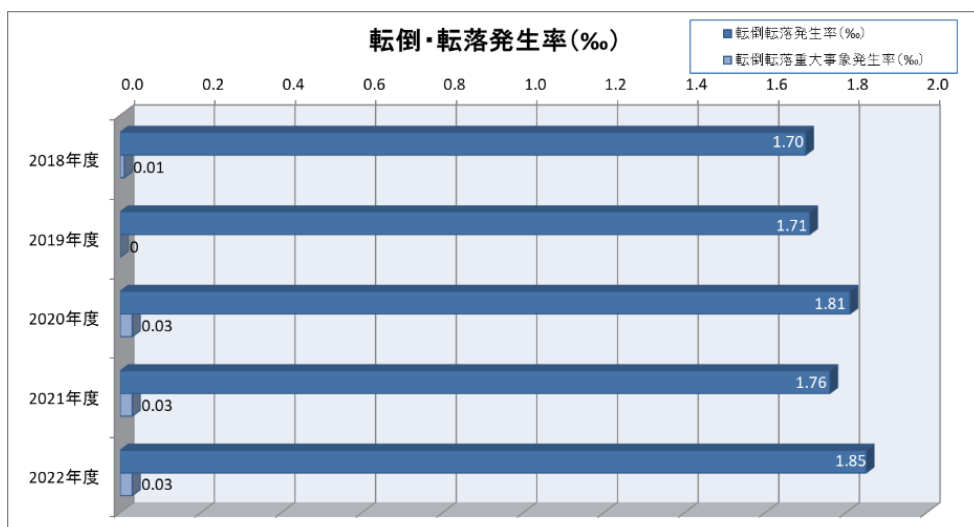
分子: 患者影響レベル × 報告件数の総和
分母: 報告件数



2. 転倒・転落発生率(‰)

在院延べ患者に対する転倒・転落の発生割合を示しています。また、転倒・転落重大事故発生率とは、在院延べ患者に対する患者影響レベル 3b 以上の転倒・転落の発生割合を示しています。

分子: レベル 3b 以上の転倒・転落発生件数
分母: 在院延べ患者数



転倒・転落を防止するために様々な取り組みを行っています。

患者さんやご家族の方とリスクを共有することも大切なことと考えており、入院の際に下記のチェック表への回答をお願いしています。ご協力をお願いします。

転倒・転落 自己チェック表		
記載者氏名： (患者本人 ・ 家族)		
* 各項目の「はい」「いいえ」に○をつけて、入院病棟の看護師にご提示ください		
1. 1年以内に家の中で転倒したことがある	はい	・ いいえ
2. 階段をひとりで昇ることができない	はい	・ いいえ
3. 最近、物忘れが多いと言われたり、何度も同じ質問をすることがある	はい	・ いいえ
4. 椅子からの立ち上がりに介助が必要である	はい	・ いいえ
5. 何かにつかまらないうちで立ってられない	はい	・ いいえ
6. 入浴には介助が必要である	はい	・ いいえ
7. せっかちで、あわてて行動することがある	はい	・ いいえ
8. 遠慮がちでナースコールを押せないタイプである	はい	・ いいえ
9. 睡眠剤、精神安定剤、尿の出を良くする薬、医療麻薬などを内服している	はい	・ いいえ
10. 尿意を感じたら、我慢はできない	はい	・ いいえ
11. 目が見えにくいため、日常生活に支障がある	はい	・ いいえ
12. 発熱がある・めまいがする・体がだるい・足がむくんでいるなどの症状がある	はい	・ いいえ



「はい」の数が多いほど、
転倒・転落の危険性が高くなります
入院日までにチェックしてみましょう！

- 患者さん、家族の皆様と医療者間で、どの程度の危険性があるのか共有しましょう
- そして、どうしたら危険を減らすことができるか、一緒に考えましょう

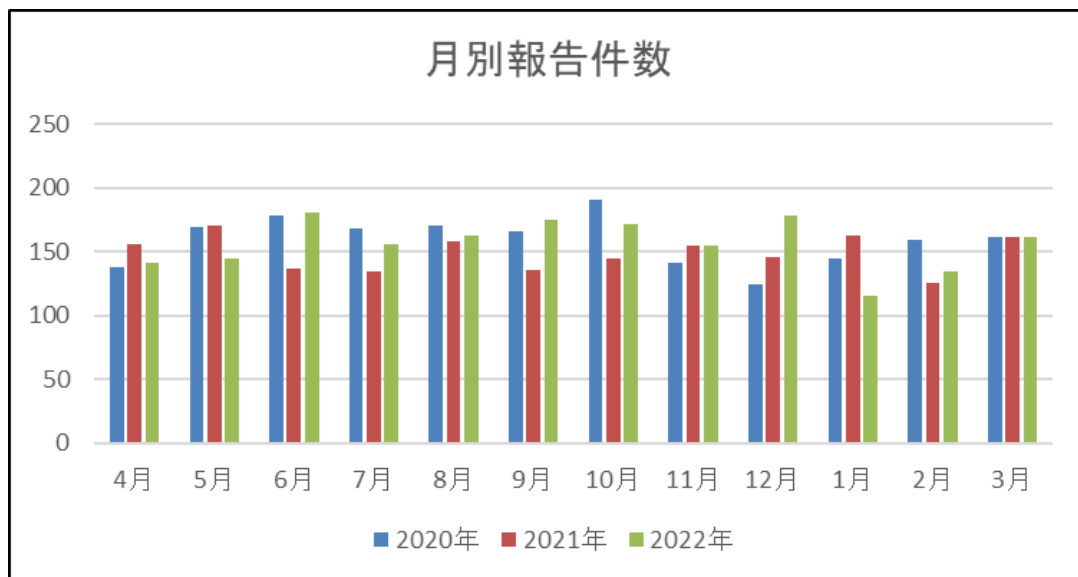
ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

II. 報告件数

1. 月別報告件数の推移

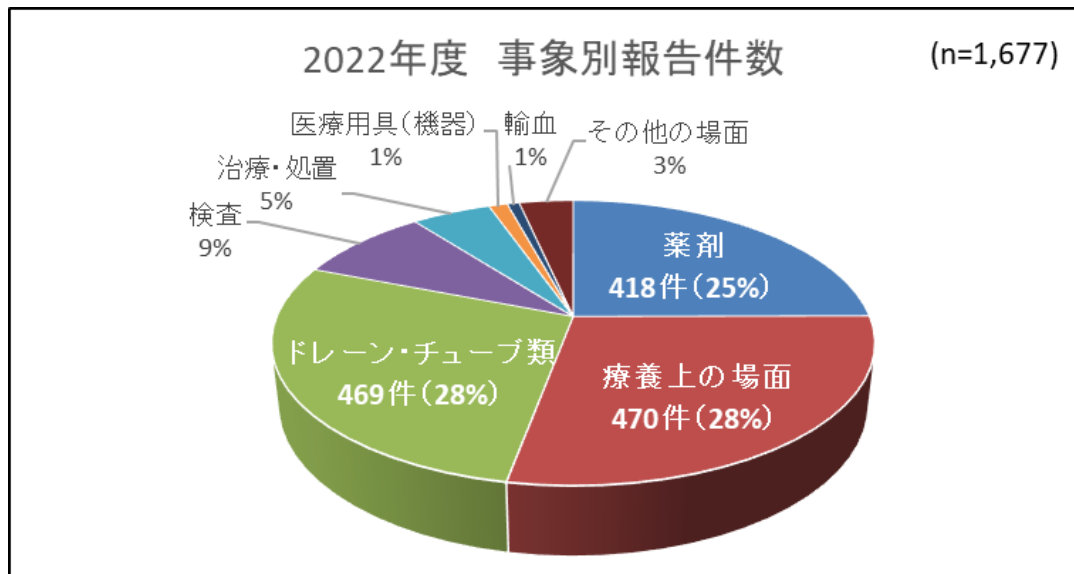
2022年度は、月平均約157件の報告があり、年間1,888件数の報告がありました。

その内、IA報告件数は1,677件でした。



2. 事象別報告件数

2022 年度の IA レポートの 3 大事象は、療養上の場面、ドレーン・チューブ類、薬剤に関するものでした。この傾向は、ここ数年変わっていません。



III. 活動内容(2022 年度)

医療安全に関する委員会や会議などの主な活動は、下記の表に示す通りです。

内容	回数
安全管理委員会開催回数	12 回
委員会での報告・検討事例数	報告 9 件・検討 9 件
医療安全職員研修会開催回数	5 回
院内ラウンド回数	18 回
ミーティング回数	13 回
カンファレンス回数	86 回
医療事故判定委員会回数	1 回
MRM 委員会回数	1 回
総合相談室対応件数	199 件
ICLS 開催件数	20 回

Ⅳ. セイフティ マネジャーとの院内ラウンド

いろいろな職種の医療安全担当職員（セイフティマネジャー）と協働で多角的視点から安全のための取り組みを行っています。

実施 月日	報告者	テーマ	対応内容
2022 年 4 月	臨床工学部	病棟の医療機器の 保管状況の確認	・医療機器ストック台数の見直しと 保管専用棚の設置 ・医療機器の充電のため、コンセント をアース付コンセントに変更
5 月	経営管理部	院内暴力発生時の 通報機能の検証	PHS での緊急通報について再周知
6 月	臨床検査部	検査室内の環境	コロナ収束後の検体採取室を機材 庫に変更し、有効活用
7 月	リハビリ テーション部	窓の開放制限と車いすの 空気圧について	リハビリテーション室、呼吸器内科 待合の窓に鍵を設置
8 月	薬剤部	薬剤オーダーの 院内ルールの確認	時間外や中止・変更時のオーダーに 関する確認
9 月	栄養部	備蓄食配備の現状と課題	埃よけを使用し衛生面に配慮した 備蓄食用コンテナの設置
10 月	臨床研修部	時計の正確性の確認	救急カートの電波時計の誤差確認 と誤差許容範囲の判定を決定
11 月	情報システム部	ナースコール子機・ 床頭台の電話の調査	床頭台の電話の廃止に向けた調査 と検討
2023 年 1 月	看護部	浴室・シャワー室の環境 サイネージの設置	浴室などへのゴムマット+バスマット 設置とサイネージ設置位置の変更
2 月	診療部	車椅子搬送時の問題点	車いすに点滴棒を設置した運用の 周知と 100kg 以上耐荷用車いす 設置の検討
3 月	診療技術部	一般撮影部門の 5S	壁の張り紙のファイリング化と掲示板 の設置

V. 医療安全職員研修会

全職員に対して、医療安全関連の研修を行いました。2022 年度的全職員対象の研修会は、Web 形式で実施しました。

開催日	内容
上期	IA レポート報告の意義
下期	ヒューマンエラーを科学する ～医療安全における「ナッジ」効果～
2022 年 4～5 月	免疫抑制・化学療法により発症する HBV 再活性化について
6 月 15 日・21 日 7 月 6 日	CVC(中心静脈カテーテル)挿入実技研修
2023 年 1 月	窒息発見時の緊急対応方法